

國際法外交雜誌

第76卷（1977年度）総目次

論説

領土変更と国籍の得喪

——朝鮮領土の変更に伴う日本国籍の喪失問題を中心として——

川上 太郎 …… 1-1(1)

国際社会における違法と責任

深津 栄一 …… 2-1(157)

世界銀行の「非政治性」に関する一考察（一）

横田 洋三 …… 2-19(175)

ドミニオンの条約締結能力

——国際法主体性を探る手がかりとして——

松田 幹夫 …… 3-1(257)

世界銀行の「非政治性」に関する一考察（二・完）

横田 洋三 …… 3-32(288)

E Cにおける域内取引と工業所有権

木棚 照一 …… 4-1(361)

庇護権の理論と現実

——国連の第一回領域的庇護全権会議より見て——

斎藤 恵彦 …… 4-45(405)

最近におけるアメリカ国際私法の動向

——法選択方法論を中心として——

松岡 博 …… 5-1(461)

海洋汚染規則に関する国家管轄権の拡大について

水上 千之 …… 5-42(502)

資源カルテルの政治力学

浦野 起央 …… 6-1(553)

米州機構における紛争の平和的解決 (一)

——米州平和委員会の展開を中心に——

中村 道 …… 6-39(591)

資料

西サハラ事件

皆川 洸 …… 1-21(21)

第三次国連海洋法会議改訂非公式単一交渉草案

福田 菊 林 司宣 …… 1-74(74)

エーゲ海大陸棚事件

皆川 洸 …… 3-78(334)

商事仲裁に関するフランス国際私法の展開

——抵触法的アプローチから実質法的アプローチへ——

多喜 寛 …… 6-65(617)

紹介

Peter H. Rohn, World Treaty Index, 5 volumes, 1974.

中原 喜一郎 …… 2-46(202)

田岡良一著「大津事件の再評価」

入江 啓四郎 …… 3-86(342)

稲生典太郎著「条約改正論の歴史的展開」

住吉 良人 …… 3-89(345)

彭明敏・黄昭堂著「台湾の法的地位」

田中 直吉 …… 4-75(435)

Max-Planck-Institut für ausländisches öffentliches Recht und Völkerrecht, Völkerrecht als Rechtsordnung Grundlagen und Quellen : Beiträge zum fünfzigjährigen Bestehen des Instituts 1924-1974, 1976.

川島 慶雄 …… 4-78(438)

John King Gamble, Jr. and Dana D. Fischer, The International Court of Justice, An Analysis of a Failure, 1976.

牧田 幸人 …… 5-82(542)

D.P. O'Connell, State Succession in Municipal Law and International Law, vol. II, International Relations, 1967.

森川 俊孝 …… 5-87(547)

Shigeru Oda, The Law of the Sea in Our Time, I, New Developments, 1966-1975; II, The United Nations Seabed Committee, 1968-1973, 1977.

中村 洸 …… 6-82(634)

会報

昭和五二年度国際法学会春季大会 …… 3-94(350)

アメリカ国際法学会一九七七年度大会参加報告 …… 4-83(443)

昭和五二年度国際法学会秋季大会 …… 6-86(636)

主要文献目録（昭和五一年度） …… 2-57(213)